



「忌部浄水場 濾水池増設工事(第1次拡張事業)」

昭和2年(1927年)～4年(1929年)

このころ誘致が画策されていた松江片倉製糸株式会社(創設昭和4年)、官公署・学校などの新・増設、人口の増加を考慮した水道計画の見直しが迫られていた。

給水人口55,000人に対し、1人1日最大給水量1石1斗(198ℓ)、全給水量を61,000石(11,003m³)とする計画を立て、昭和2年3月7日、市会の議決を得て、水道拡張ならびに拡張資金起債之件を内務大臣に申請、同年11月に認可。

総事業費40万円を計上し、昭和2年度から同4年度に至る3か年の継続事業として工事に着手した。

計画案に基づく主な工事は、濾過池2池の増設、送水管・配水管の増設、量水器取付工事など。濾過池の増設工事は昭和4年11月中旬をもって終え、その他の工事は昭和5年3月に竣工した。